

2 成人・老人保健

本市では市民の健康の保持・増進を図るため、健康増進法第 17 条第 1 項及び第 19 条の 2 に基づき、健康相談、健康教育、各種がん検診等の健康増進事業を実施している。

また、健康増進法に基づく事業以外に、胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。

（1）大津市がん対策推進基本計画

「大津市がん対策推進条例」に基づき、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策について総合的かつ計画的に推進するために、この計画が策定された。

平成 30 年 10 月からは、『アピアランスケア支援事業』を開始し、がん患者の療養生活の質的向上のため購入する補整用具（ウィッグ・帽子）の購入に係る費用を助成している。

（助成対象者）抗がん剤治療等の副作用による脱毛症状に対処するためにウィッグや帽子を購入し、現にがん治療を受けている、又は過去にがん治療を受けていた市民

（助成金額）補整用具の購入に要した費用に相当する額と、10,000 円のいずれか少ない方の額

（申請）助成対象者 1 人につき、生涯 1 回限り

（申請状況）

（平成 30 年度）

合計	男性	女性
44人	4人	40人

（2）健康手帳の交付

健(検)診の記録や保健指導の記録等を記載し、自らの健康管理に役立てるために、おおむね 40 歳以上の希望者に対して健康手帳を交付している。

■健康手帳交付状況

交付数
1,138 冊

（3）健康教育

生活習慣病や疾病の予防、介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に各すこやか相談所において健康教育を実施している。

各すこやか相談所において地域住民を対象に地域の健康課題に応じた健康教育を企画し、実施している。また、各学区の地域組織や各種団体の依頼に応じ、生活習慣病予防等の健康教育を市民センターや地域自治会館等において実施している。

■集団健康教育実施状況

〈健康増進事業〉

（単位：回・人）

区分	合計	骨粗鬆症予防	健康増進	メタボリックシンドローム	食生活	がん予防	生活習慣病予防	禁煙	他の疾病予防
開催回数	95	16	9	1	5	30	30	2	2
参加延人数	1,979	309	311	25	169	444	369	270	82

〈介護予防普及啓発事業〉

(単位：回・人)

区分	合計	介護 予防	転倒 予防	食生活	口腔 ケア	がん 予防	閉じこも り予防	認知症 予防	健康 づくり	骨粗 鬆症	地域 づくり	生活習慣 病予防	他の疾 病予防
開催回数	204	90	25	21	9	4	—	14	20	5	1	3	12
参加延人数	4,629	1,858	545	541	306	91	—	317	569	127	12	81	182

(4) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、生活習慣病や疾病の予防及び健康の保持増進を図っている。各すこやか相談所においては、毎日（祝祭日及び土、日を除く）健康相談室を開設し、市民の健康に関する相談に応じている。また、地域によっては、市民センターやショッピングセンターでの健康推進課相談日を設けている。さらに地域からの依頼により、各学区老人クラブ等を対象とした健康相談も実施している。

■健康相談実施状況

(単位：回・人)

相談方法	実施 回数	相談延人数				相談延件数											
		母子	成人・ 老人	精神	合計	母子					成人・老人					精神	合計
						乳児	幼児	妊産婦	思春期	小計	重点	64歳 以下	65歳 以上	小計			
来所相談	すこやか	1,715	4,593	546	241	5,380	4,200	2,129	28	7	6,364	—	284	281	565	244	7,173
	学区定例	105	1,046	187	—	1,233	972	622	—	—	1,594	—	25	180	205	—	1,799
	老人クラブ	9	—	165	—	165	—	—	—	—	—	—	1	169	170	—	170
	その他	192	1,208	1,334	—	2,542	638	915	2	—	1,555	—	191	1,091	1,282	—	2,837
	小計	2,021	6,847	2,232	241	9,320	5,810	3,666	30	7	9,513	—	501	1,721	2,222	244	11,979
	電話相談	—	1,679	131	1,256	3,066	1,112	606	121	17	1,856	—	77	65	142	1,274	3,272
	合計	2,021	8,526	2,363	1,497	12,386	6,922	4,272	151	24	11,369	—	578	1,786	2,364	1,518	15,251

(5) 訪問指導

療養上の保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して、各すこやか相談所の保健師等が家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図っている。健康増進法に基づく訪問指導は、40歳から64歳までの市民が対象となっている。

訪問実人数(人)	17	訪問延人数(人)	21
----------	----	----------	----

(6) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的として、肝炎ウイルス検診を実施している。事業を開始した平成14年度は老人保健法に基づき実施し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。

また、国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」の一部改正により、平成23年度から個別受診勧奨として、年度年齢41歳から61歳の5歳刻みの節目年齢で、過去に肝炎ウイルス検診を受診していない者に対して無料クーポン券を送付している。さらに、平成28年度からは検診初年度となる年度年齢40歳の者に対し無料クーポン券を送付し、受診促進を図っている。

平成29年度より、従来の医療機関委託による個別方式に加え、集団特定健診と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の市民で、以下のいずれかに該当する者。原則生涯に1回。

ア 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者

イ 特定健診及びその他の法令に基づき行われる特定健診に相当する健康診断の結果において、肝機能検査の数値のうち、いずれか1つでも保健指導判定値であった者
 実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式
 検査内容 B型肝炎ウイルス検診及びC型肝炎ウイルス検診
 検診料 1,000円（ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■実施方法別受診者数

個別方式：2,305人 集団方式：348人（14回実施）

■無料クーポン券利用状況：対象者数 23,863人 受診者数 2,285人 利用率 9.6%

■年齢別性別検診結果

（単位：人）

区分	総数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	2,653	938	1,715	272	719	115	212	137	259	136	165	189	246	41	52	48	62	
検診結果	B型	陽性	5	5	0	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
		陰性	2,648	933	1,715	271	719	114	212	137	259	134	165	188	246	41	52	48
	C型	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」	4	0	4	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
		「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」	2,649	938	1,711	272	718	115	212	137	259	136	164	189	244	41	52	48

（7）がん検診

がん検診は、老人保健法に基づく健康診査として実施（補助金による財源措置）していたが、平成10年度に老人保健法に基づく健康診査から除かれ、一般の疾病対策の一環として実施。平成20年度より健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられ「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」に基づき実施（地方交付税による財源措置）している。

① 胃がん検診（胃部エックス線検査）

胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向ではあるが、男女とものがんによる死亡の上位を占めている。そこで本市では、胃がんを早期発見・早期治療することで、胃がんの死亡率を減少させることを目的として胃がん検診を実施している。市保有の検診車の廃車に伴い平成8年度から胃部エックス線撮影のみを業者委託で実施してきたが、平成25年度からは、胃部エックス線写真の読影も含め業者委託としている。また、大津市胃がん検診協議会を設置して検診の精度管理を行っている。

対象者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回
 実施方法 検診機関に委託して検診車による集団検診を各学区市民センター等において実施
 検査内容 バリウムによる胃部エックス線検査
 検診料 1,000円（ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■平成 30 年度胃がん検診（胃部エックス線検査）結果

（単位：人・％）

	全年齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	106,115 (54,759)	39,938 (25,059)	66,177 (29,700)	49,562 (35,072)	17,060 (16,097)	32,502 (18,975)
受診者数	1,569 (972)	683 (464)	886 (508)	926 (594)	343 (279)	583 (315)
受診率	1.5	1.7	1.3	1.9	2.0	1.8
要精検者数	64	33	31	28	17	11
要精検率	4.1	4.8	3.5	3.0	5.0	1.9
精検受診者数	57	30	27	25	15	10
精検受診率	89.1	90.9	87.1	89.3	88.2	90.9
胃がん	-	-	-	-	-	-
がん発見率	-	-	-	-	-	-

※精密検査受診結果については令和元年 6 月 30 日現在

※対象者数＝年度当初人口-就業者数（平成 27 年国勢調査）+農林水産業従事者数（平成 27 年国勢調査）

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和元年 6 月 30 日現在)

（単位：人・％）

区分	総数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	1,569	683	886	38	110	36	93	18	58	16	40	54	107	181	175	340	303
(再掲)初回受診者数	266	84	182	16	65	4	30	5	13	2	8	6	13	25	21	26	32
初回受診割合	17.0	12.3	20.5	42.1	59.1	11.1	32.3	27.8	22.4	12.5	20.0	11.1	12.1	13.8	12.0	7.6	10.6
精検不要者数	1,505	650	855	38	109	35	93	18	58	16	40	53	99	166	173	324	283
要精検者数	64	33	31	-	1	1	-	-	-	-	-	1	8	15	2	16	20
要精検率	4.1	4.8	3.5	-	0.9	2.8	-	-	-	-	-	1.9	7.5	8.3	1.1	4.7	6.6
精検受診者数	57	30	27	-	1	1	-	-	-	-	-	1	8	13	1	15	17
胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
胃がん以外の疾患	54	27	27	-	1	1	-	-	-	-	-	1	8	11	1	14	17
異常なし	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-

●胃がん検診（胃内視鏡検査）

平成 28 年 2 月、国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改定により対策型胃内視鏡検診が位置づけられたため、平成 30 年 2 月から胃内視鏡検査による胃がん検診を実施している。また、大津市胃がん検診協議会を設置して検診の精度管理を行っている。

対象者 当該年度において 50 歳以上の偶数年齢の市民で 2 年度に 1 回

実施方法 実施医療機関に委託して、個別方式で実施

検査方法 胃内視鏡検査

検診料 4,000 円（ただし、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和元年6月30日現在)

(単位：人・%)

区分	総数		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	307 (212)	141 (96)	166 (116)	10 (7)	22 (11)	5 (4)	12 (8)	14 (10)	35 (27)	34 (30)	24 (24)	78 (45)	73 (46)	
検診結果	精検不要者数	262	115	147	9	22	3	12	13	33	32	23	58	57
	要精検者数	45	26	19	1	-	2	-	1	2	2	1	20	16
	生検受診者数	45	26	19	1	-	2	-	1	2	2	1	20	16
	生検率	14.7	18.4	11.4	10.0	0.0	40.0	0.0	7.1	5.7	5.9	4.2	25.6	21.9
	検診時生検未受診のうち要再検査者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精検受診者数	45	26	19	1	-	2	-	1	2	2	1	20	16	
胃がん	胃がん	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	胃がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃がん以外の疾患	35	19	16	1	-	2	-	1	2	1	-	14	14
	異常なし	8	6	2	-	-	-	-	-	-	1	1	5	1

※ () (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

② 大腸がん検診

高齢化の影響もあり、大腸がんの死亡者数や死亡率は増加傾向にある。そこで本市では大腸がんを早期発見・早期治療することで、大腸がんの死亡率の減少を図ることを目的に大腸がん検診を実施している。平成2年度から老人保健法に基づき実施し、平成5年度からは医療機関に委託して実施している。平成30年度より集団特定健診と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査方法 便潜血検査(免疫便潜血検査2日法、OCセンサー方式)

検診料 600円(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■実施方法別受診者数 個別方式：15,258人 集団方式：1,037人(14回実施)

■平成30年度大腸がん検診結果

(単位：人・%)

	全年齢			(再掲) 40～69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	106,115 (54,759)	39,938 (25,059)	66,177 (29,700)	49,562 (35,072)	17,060 (16,097)	32,502 (18,975)
受診者数	16,295 (10,471)	6,096 (4,176)	10,199 (6,295)	8,169 (5,916)	2,659 (2,300)	5,510 (3,616)
受診率	15.4	15.3	15.4	16.5	15.6	17.0
要精検者数	872	429	443	313	130	183
要精検率	5.4	7.0	4.3	3.8	4.9	3.3
精検受診者数	685	332	353	236	95	141
精検受診率	78.6	77.4	79.7	75.4	73.1	77.0
大腸がん	28	16	12	11	7	4
がん発見率	0.17	0.26	0.12	0.13	0.26	0.07

※精密検査受診結果については令和元年6月30日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※ () (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和元年6月30日現在)

(単位:人・%)

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	16,295	6,096	10,199	205	492	235	517	235	513	213	640	403	1,130	1,368	2,218	3,437	4,689		
(再掲)初回受診者数	3,815	1,324	2,491	103	288	64	235	59	228	54	225	108	301	360	458	576	756		
初回受診割合	23.4	21.7	24.4	50.2	58.5	27.2	45.5	25.1	44.4	25.3	35.2	27.2	26.7	26.2	20.5	12.3	22.0		
検診結果	精検不要者数	15,423	5,667	9,756	201	473	229	503	223	495	205	619	385	1,099	1,286	2,138	3,138	4,429	
	要精検者数	872	429	443	4	19	6	14	12	18	8	21	18	31	82	80	299	260	
	要精検率	5.4	7.0	4.3	2.0	3.9	2.6	2.7	5.1	3.5	3.8	3.3	4.5	2.7	6.0	3.6	8.7	5.5	
精密検査結果	精検受診者数	685	332	353	2	16	4	7	10	17	7	18	14	27	58	56	237	212	
大腸がん	早期がん	15	11	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	6	3	
	進行がん	11	5	6	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	1	—	3	5	
	進行期不明	2	—	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	
	ポリープ	腺腫性	362	195	167	2	4	1	1	5	8	4	4	6	8	30	28	147	114
		過形成性	33	9	24	—	1	—	1	1	1	—	3	—	3	2	4	6	11
		その他	11	8	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	1	6	1
	潰瘍性大腸炎	5	2	3	—	1	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	1	—	
	その他炎症性腸疾患	15	5	10	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	3	3	6	
	憩室	65	30	35	—	2	—	—	1	2	1	3	1	3	10	2	17	23	
	痔核	61	23	38	—	3	1	—	—	—	1	3	1	5	4	8	16	19	
	その他	10	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	8	1	
	異常なし	95	35	60	—	5	1	3	2	5	1	4	3	6	4	8	24	29	

③ 肺がん結核検診

我が国のがんによる死亡者数は、現在、肺がんが最も多く、その罹患率及び死亡率は年々増加しつつある。そこで本市では、肺がんを早期発見・早期治療することで、肺がんの死亡率を減少させることを目的に、平成22年10月より肺がん検診を実施している。また、結核については、住民結核検診として65歳以上の者を対象に検診車による集団検診を実施していたが、平成26年度に肺がん検診に統合し、肺がん結核検診として、近くの実施医療機関で受診できるよう個別方式に変更した。平成29年度より集団特定健診と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対 象 者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査内容 胸部エックス線検査、喀痰細胞診(対象者かつ個別方式のみ)

検 診 料 胸部エックス線検査500円 喀痰細胞診1,000円

ただし、70歳以上(胸部エックス線検査については65歳以上)の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者の喀痰細胞診は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■実施方法別受診者数 個別方式:17,362人 集団方式:791人(8回実施)

■平成 30 年度肺がん結核検診結果

(単位：人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	106,115 (54,759)	39,938 (25,059)	66,177 (29,700)	49,562 (35,072)	17,060 (16,067)	32,502 (18,975)
受診者数	18,153 (11,487)	7,123 (4,769)	11,030 (6,718)	8,039 (6,396)	2,855 (2,589)	5,184 (3,807)
受診率	17.1	17.8	16.7	16.2	16.7	15.9
要精検者数	926 [674]	445 [318]	481 [356]	302 [225]	146 [107]	156 [118]
要精検率	5.1 [3.7]	6.2 [4.5]	4.4 [3.2]	3.8 [2.8]	5.1 [3.7]	3.0 [2.3]
精検受診者数	853 [637]	405 [298]	448 [339]	278 [212]	131 [99]	147 [113]
精検受診率	92.1 [94.5]	91.0 [93.7]	93.1 [95.2]	92.1 [94.2]	89.7 [92.5]	94.2 [95.8]
肺がん	8 [8]	5 [5]	3 [3]	0	0	0
がん発見率	0.04	0.07	0.03	0	0	0

※精密検査受診結果については令和元年 6 月 30 日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成 27 年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成 27 年国勢調査)

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

※ [] 内の数字は E 判定の結果

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和元年 6 月 30 日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	18,153	7,123	11,030	190	422	254	432	232	444	228	543	462	1,046	1,489	2,297	4,268	5,846
(再掲) 喀痰検査実施者数	1,327	1,197	130	-	-	-	-	23	10	32	10	84	22	321	33	737	55
(再掲) 初回受診者数	6,453	2,482	3,971	115	293	130	232	90	247	86	258	189	447	556	781	1,316	1,713
初回受診割合	35.5	34.8	36.0	60.5	69.4	51.2	53.7	38.8	55.6	37.7	47.5	40.9	42.7	37.3	34.0	30.8	29.3
精検不要者数	17,227	6,678	10,549	188	418	242	428	225	437	213	525	438	1,016	1,403	2,204	3,969	5,521
要精検者数	926	445	481	2	4	12	4	7	7	15	18	24	30	86	93	299	325
精検率	5.1	6.2	4.4	1.1	0.9	4.7	0.9	3.0	1.6	6.6	3.3	5.2	2.9	5.8	4.0	7.0	5.6
(再掲) E 判定者数	674	318	356	1	4	8	3	4	5	12	13	19	26	63	67	211	238
E 判定率	3.7	4.5	3.2	0.5	0.9	3.1	0.7	1.7	1.1	5.3	2.4	4.1	2.5	4.2	2.9	4.9	4.1
精検受診者数	853	405	448	2	3	12	4	5	6	13	17	22	28	77	89	274	301
精密検査結果																	
原発性肺がん	7	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3
転移性肺がん	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
その他のがん	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
がんの疑い	70	39	31	-	-	3	-	-	1	3	-	1	2	8	8	24	20
その他の肺病変	270	127	143	-	1	1	-	-	1	1	4	7	12	28	33	90	92
肺結核症	15	7	8	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	6	6
その他	167	91	76	-	-	3	1	3	1	5	4	2	1	17	11	61	58
異常なし	322	136	186	2	2	5	3	1	3	4	6	12	13	24	37	88	122

④子宮頸がん検診

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染が主な原因とされ、20～30 歳代で増加傾向にある。子宮頸がんは早期に治療を行えばほとんどが治癒することから、早期発見が重要となっている。そこで本市では、子宮頸がんを早期発見、早期治療することで、子宮頸がんの死亡率を減少させることを目的に子宮頸がん検診を実施している。

平成 10 年度までは子宮がん検診として実施してきたが、平成 11 年度から有症状者を対象とする体部がん検診は医療の範疇として廃止し、子宮頸がん検診のみを実施している。また、平成 17 年度から、国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも対象年齢を 30 歳以上から 20 歳以上に変更し、受診回数は 2 年度に 1 回とした。平成 23 年度からは、受診機会の拡大を目的に、滋賀県内 19 市町が集合契約を締結し実施している。

地方交付税の上乗せとして平成 21 年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成 23 年度から「がん検診推進事業」、平成 26 年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成 27 年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、平成 30 年度については 21 歳の昨年度未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市単独事業として 20 歳全員に無料クーポン券、22 歳～59 歳の昨年度未受診者に対し、有料受診券を送付すること

で受診促進を図っている。

- 対象者 当該年度において20歳以上の女性市民で2年度に1回
 実施方法 県内登録医療機関に委託して、個別方式で実施
 検査内容 問診、視診、内診、子宮頸部の細胞診
 検診料 1,000円(ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■平成30年度子宮頸がん検診結果 (単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 20～69歳
対象者数	79,455 (34,323)	45,780 (23,598)
受診者数	13,005 (2,205)	12,512 (1,908)
前年度受診者数	7,713	7,222
連続受診者数	0	0
受診率	26.1	43.1
要精検者数	263	256
要精検率	2.0	2.0
精検受診者数	201	193
精検受診率	76.4	75.4
子宮頸がん	3	1
がん発見率	0.02	0.008

※子宮頸がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※精密検査受診結果については令和元年6月30日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※がん発見率については上皮内腺がん(AIS)を除く

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

■無料クーポン券利用状況 : 対象者数 3,381人 受診者数 250人 受診率 7.4%

■年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和元年6月30日現在）

（単位：人・％）

区分	総計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	
受診者数	13,005	718	1,036	1,566	1,897	2,059	1,860	1,471	1,211	354	340	493	
（再掲）初回受診者	5,126	510	590	648	645	680	686	507	411	113	104	232	
初回受診割合	39.4	71.0	56.9	41.4	34.0	33.0	36.9	34.5	33.9	31.9	30.6	47.1	
検診結果													
精検不要	12,742	709	995	1,527	1,867	2,021	1,814	1,440	1,196	350	337	486	
要精検者数	263	9	41	39	30	38	46	31	15	4	3	7	
要精検率	2.0	1.3	4.0	2.5	1.6	1.8	2.5	2.1	1.2	1.1	0.9	1.4	
精検受診者数	201	7	36	32	21	31	35	19	10	2	1	7	
精密検査結果	扁平上皮がんIb期～	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	扁平上皮がんIa期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸部腺がんIb期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸部腺がんIa期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	頸部がん（進行期不明）	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	頸部がん疑い	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	上皮内腺がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	体部内膜がんIb期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	体部内膜がんIa期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	体部内膜がん（進行期不明）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	異形成高度	34	-	7	9	6	3	3	5	1	-	-	-
	異形成中等度	31	3	4	5	4	7	5	1	2	-	-	-
	異形成軽度	61	4	16	13	6	6	9	4	1	-	-	2
	異形成不明	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	頸部腺異形成	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	細胞診異常	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	膣炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	頸管炎	7	-	3	1	-	-	3	-	-	-	-	-
頸管ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	6	-	2	1	-	-	1	-	-	1	-	1	
特記すべき病変なし	54	-	3	3	5	14	12	8	6	-	1	2	

⑤ 乳がん検診

乳がんは年々増加しており、40歳代後半が罹患率のピークになっている。乳がんの罹患率は女性のがんで1位となっているが、早期治療により治癒が可能とされている。そこで本市では、乳がんの早期発見・早期治療により、乳がんの死亡率の減少を図ることを目的に乳がん検診を実施している。

平成13年9月までは30歳以上の女性市民を対象に視触診による乳がん検診を実施してきたが、平成13年10月から、50歳以上の女性市民を対象に視触診・マンモグラフィ併用法を一部導入した。平成17年度から国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも40歳以上の女性市民を対象とした視触診・マンモグラフィ併用法による乳がん検診に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成29年度からマンモグラフィ単独検診となったことで、集団検診の予約枠数が40人から60人に増加し、平成30年度は、全国健康保険協会滋賀支部及び大津市国民健康保険が協同実施する特定健診との同日実施で乳がん集団検診を2回行い、より多くの市民が乳がん検診を受けられるようになった。

地方交付税の上乗せとして、平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、平成30年度は41歳の未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市の単独事業として、40歳全員に無料クーポン券、年度年齢43～59歳までの奇数年齢で平成29年度未受診者に有料受診券を送付することで、受診促進を図っている。

- 対象者 当該年度において40歳以上の女性市民で2年度に1回
 実施方法 登録医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式で実施
 検査内容 マンモグラフィ単独法
 検診料 個別検診で40歳代1,800円、50歳以上1,300円
 集団検診で40歳代1,500円、50歳以上1,200円
 (ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

■平成30年度乳がん検診結果 (単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 40～69歳
対象者数	66,177 (29,700)	32,502 (18,975)
受診者数	5,096 (1,446)	4,485 (1,049)
前年度受診者数	6,486	6,036
連続受診者数	0	0
受診率	17.5	32.3
要精検者数	405	373
要精検率	7.9	8.3
精検受診者数	389	357
精検受診率	96.0	95.7
乳がん	16	12
がん発見率	0.31	0.27

※乳がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※精密検査受診結果については令和元年6月30日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

■無料クーポン券利用状況 : 対象者数 4,313人 受診者数 723人 受診率 16.8%

■年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和元年6月30日現在）

（単位：人・％）

区 分		総 数	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上		
受診者数		5,096	1179	986	738	822	342	418	611		
（再掲）初回受診者数		3,148	936	654	460	540	151	193	214		
初回受診割合		61.8	79.4	66.3	62.3	65.7	44.2	46.2	35.0		
検診結果											
精検不要者数		4691	1088	885	674	757	319	389	579		
要精検者数		405	91	101	64	65	23	29	32		
要精検率		7.9	7.7	10.2	8.7	7.9	6.7	6.9	5.2		
精検受診者数		389	86	96	61	64	21	29	32		
精密検査結果											
乳がん		16	-	3	1	5	2	1	4		
線維腺腫		44	11	12	4	7	1	5	4		
乳腺症		127	36	30	26	13	9	5	8		
その他		30	9	7	1	5	2	2	4		
乳がん疑い		-	-	-	-	-	-	-	-		
異常なし		172	30	44	29	34	7	16	12		
実施方法別内訳	個別検診	受診者数	4,287	967	848	631	714	281	347	499	
		（再掲）初回受診者数	2,590	746	556	394	465	121	148	160	
		初回受診割合	60.4	77.1	65.6	62.4	65.1	43.1	42.7	32.1	
		検診結果	精検不要者数	3,936	894	756	575	658	259	320	474
			要精検者数	351	73	92	56	56	22	27	25
		精検受診者数		336	69	87	53	55	20	27	25
		精密検査結果	乳がん	10	-	1	1	4	2	-	2
			線維腺腫	36	8	10	3	6	1	5	3
			乳腺症	114	31	29	23	12	9	5	5
			その他	26	8	5	1	4	2	2	4
	乳がん疑い		-	-	-	-	-	-	-	-	
	異常なし	150	22	42	25	29	6	15	11		
	集団検診	受診者数	809	212	138	107	108	61	71	112	
		（再掲）初回受診者数	558	190	98	66	75	30	45	54	
		初回受診割合	69.0	89.6	71.0	61.7	69.4	49.2	63.4	48.2	
		検診結果	精検不要者数	755	194	129	99	99	60	69	105
			要精検者数	54	18	9	8	9	1	2	7
		精検受診者数		53	17	9	8	9	1	2	7
		精密検査結果	乳がん	6	-	2	-	1	-	1	2
			線維腺腫	8	3	2	1	1	-	-	1
乳腺症			13	5	1	3	1	-	-	3	
その他			4	1	2	-	1	-	-	-	
乳がん疑い	-		-	-	-	-	-	-	-		
異常なし	22	8	2	4	5	1	1	1			

⑥ 胃がんリスク検診（胃の健康度検査）

平成24年10月より、従来の胃がん検診に加え胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を導入した。胃がんリスク検診は、胃がんリスクの高い人を早期に発見し、医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図ることを目的に実施している。平成29年度より2巡目を迎え、平成30年度は2巡目の2年目となる。

対象者 当該年度において41歳、46歳、51歳、56歳、61歳の市民

実施方法 実施医療機関に委託し個別方式で実施

実施期間 平成30年6月から平成31年3月31日まで

検査内容 血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

検診料 1,300円（ただし、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

■年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果（令和元年6月30日現在）

（単位：人・％）

区分	総数		41歳		46歳		51歳		56歳		61歳			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	1584	576	1008	122	261	96	177	117	219	114	142	127	209	
検診結果	精検不要者数 A群	1289	472	817	105	226	79	148	95	170	91	115	102	158
	要精検者数	295	104	191	17	35	17	29	22	49	23	27	25	51
	内訳 B群	232	85	147	16	29	14	22	20	43	15	19	20	34
	C群	63	19	44	1	6	3	7	2	6	8	8	5	17
	要精検率	18.6	18.1	18.9	13.9	13.4	17.7	16.4	18.8	22.4	20.2	19.0	19.7	24.4
B群	精検受診者数	166	58	108	11	23	10	19	11	27	10	13	16	26
精密検査結果	B群 胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃がん以外の疾患	163	58	105	11	22	10	19	11	27	10	12	16	25
	異常なし	3	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1
C群	精検受診者数	53	15	38	-	4	3	6	2	5	6	7	4	16
精密検査結果	C群 胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃がん以外の疾患	53	15	38	-	4	3	6	2	5	6	7	4	16
	異常なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■検診後の除菌状況（令和元年6月30日現在）

（単位：人）

区分	総数		41歳		46歳		51歳		56歳		61歳			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
除菌者数	186	59	127	10	23	11	24	9	25	16	17	13	38	
内訳	B群	143	48	95	10	19	9	19	8	22	10	11	11	24
	C群	43	11	32	-	4	2	5	1	3	6	6	2	14

（8）健康診査

平成18年の医療制度改革において老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に全面改正され、医療保険者に、40歳以上74歳以下の被保険者及び被扶養者に対する生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導が義務付けられた。これに伴い、老人保健法に位置づけられていた事業のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に定められたもの以外については、健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が引き続き実施することとされた。これにより平成20年4月1日から大津市国民健康保険の保険者として特定健康診査及び特定保健指導を、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした健康診査を実施している。また、医療保険に加入していない生活保護受給者等を対象とし、健康増進法に基づく基本健康診査を実施している。

① 後期高齢者健康診査

対象者 滋賀県後期高齢者医療制度被保険者

※ただし、平成27年度より、委託元である滋賀県後期高齢者医療広域連合の方針に従い、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外

実施場所 県内登録医療機関において実施

実施期間 平成30年6月から平成31年1月31日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）

（受診状況）

（平成30年度）

区分	総数	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上
対象者数（人）	11,999	75	6,258	2,937	1,691	791	203	44
受診者数（人）	3,251	8	2,156	732	256	83	14	2
受診率（%）	27.1							

② 基本健康診査

対象者 当該年度において40歳以上で医療保険に未加入の天津市生活保護受給者等
 ※ただし、75歳以上の者については、後期高齢者健康診査の対象者の変更に伴い併せ、
 要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外

実施期間 平成30年6月から平成31年1月31日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）

追加項目（血液検査、尿検査）※75歳未満の者のみ実施

詳細項目（心電図検査、眼底検査、貧血検査）※75歳未満の該当者のみ実施

保健指導 ※75歳未満の該当者で希望する者に実施

（受診者数）

（平成30年度）

区分	総数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70～74歳		75歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
対象者数（人）	2,770	1,352	1,418	64	85	104	128	131	112	125	114	179	97	244	171	212	200	293	511
受診者数（人）	268	142	126	4	11	10	6	12	6	13	13	18	11	23	21	28	25	34	33
受診率（%）	9.7	10.5	8.9																